

判断が分かれた事例を多数分析！

有効・無効の判断の境界線を浮かび上がらせる

# 判例解説

## 解雇・懲戒の勝敗分析

高井・岡芹法律事務所 編著

2020年4月刊 A5判 340頁 本体3,400円+税 978-4-8178-4640-2 商品番号:40817 略号:判解雇

- 主に経営側の立場から人事・労務問題を多く取り扱う法律事務所の弁護士による執筆。
- 一審と二審で裁判所の評価の覆ったもの、要件該当性の判断の微妙なものなど、実務家にとって参考になる判例を数多く収録。
- どのような事実が重視され、どのような事実があれば判断が変わりえたのか、労務管理はどうするのがよいかを詳細に解説。

### 第1編 解雇

第1章 労働者の労務提供の不能、労働能力または適格性の欠如・喪失

第1 労務提供の不能・労働能力の喪失

第2 勤務成績の不良

1 新卒採用の場合

2 即戦力・中途採用の場合

第2章 労働者の企業秩序違反(懲戒解雇ではなく普通解雇としたケース)

第3章 経営上の必要性に基づく解雇

第1 整理解雇

第2 会社解散

### 第2編 雇止め

第1章 期間の定めのない雇用契約の終了と社会通念上同視できる場合

第2章 雇用契約更新への合理的期待

### 第3編 懲戒

第1章 職務懈怠・業務命令違反

第2章 横領・背任・窃盗

第3章 守秘義務違反・競業禁止・引き抜き

第4章 パワーハラスメント・暴行・暴言

第5章 セクシュアルハラスメント

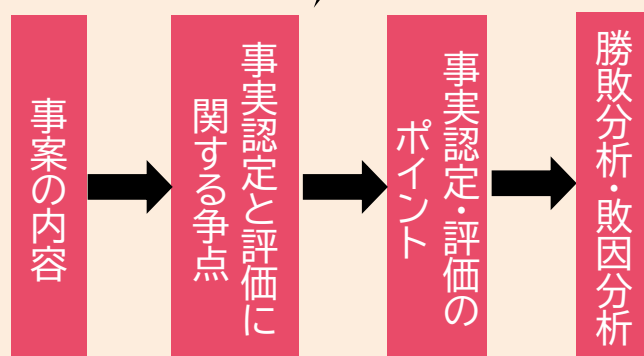
第6章 経歴詐称

第7章 私生活上の非行

第8章 管理監督義務違反

第9章 手続違背

判断ポイントが  
わかりやすい構成！



日本加除出版